

2025年度岡山大学経済学部経済学科夜間主コース

学校推薦型選抜Ⅰ・社会人選抜試験問題冊子

注 意 事 項

1. 配付物は、問題冊子は1冊（7頁）、解答用紙が2枚、下書用紙は2枚です。
2. 試験開始の合図の後、問題冊子・解答用紙・下書用紙を確認し、不足・汚損・落丁等がある場合は、挙手のうえ、監督者に申し出てください。
3. 2枚の解答用紙にはそれぞれ必ず受験番号を記入してください。
4. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。

2025年度 岡山大学経済学部経済学科夜間主コース

推薦入試Ⅰ・社会人入試試験問題（90分）

以下のすべての問題に解答しなさい。なお、問題1の解答には解答用紙（その1）を、問題2の解答には解答用紙（その2）を使用しなさい。

問題1 資料1の文章を読み、以下の問に答えなさい。

問1 下線部（1）について、不確実性とリスクを負担しようとする個人やその負担を厭わない個人が起業家になろうとすると言えるのは何故か、本文に即して説明しなさい（200字以内）。

問2 下線部（2）について、起業家に必要な能力と経営者に必要な能力はどのように異なるか、ここでの起業家と経営者の違いに言及しつつ、本文に即して説明しなさい（300字以内）。

問題2 資料2の文章を読み、以下の問に答えなさい。

問1 この資料の要点（ポイント）を簡潔にまとめた見出しを3点作成しなさい（各25字以内）。1点目は「経済停滞」・「欠如」を、2点目は「ミクロ」・「無関係」を、3点目は「主役」・「役割」のキーワードを必ず含めること。

問2 この資料が著者達による現役世代（特に若い世代）に対するメッセージだとすれば、そのエール（励まし・応援）の具体的な内容について、資料の内容に即して論理的に述べなさい（200字以内）。

問3 下線部によると、「日本が抱える人口減少や高齢化という課題は、イノベーションを生み出す素地になっている」とのことである。既に身近にみられる、このようなイノベーションの例を3点挙げるとともに、今後普及が期待されるイノベーションの例を1点挙げなさい（200字以内）。

以上

資料 1

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

（出典：加藤雅俊著『スタートアップとは何か―経済活性化への処方箋』岩波新書、2024年、88ページから93ページ、一部省略・改変）

資料 2

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

著作権等の都合により公開いたしません。

(出典：吉川洋・山口広秀「日本経済復活の条件（上）」、2024年6月13日 日本経済新聞
29 ページ『経済教室』、一部省略・改変)

用語解説

「ミクロ」と「マクロ」：経済学の理論として、ミクロ経済学とマクロ経済学がある。ミクロとは「小さい・細かい」、マクロは「大きい・巨大」という意味をもつ。ミクロ経済学では、消費者や生産者など個別の経済主体の行動に注目し、個人や企業の意味決定の問題や市場における資源配分の効率性などについて考える。一方、マクロ経済学では、経済活動の集計量（GDP や物価など）に注目し、その国における景気循環や経済成長の問題などについて考える。

「マス」：「大量」や「集まり」を意味し、物体や人々が集まっている様子を表す。